

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】特開 2005-14481 (P2005-14481A)

【公開日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-003

【出願番号】特願 2003-184335 (P2003-184335)

【国際特許分類】

B 2 9 C 55/12 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

G 1 1 B 5/64 (2006.01)

G 1 1 B 5/73 (2006.01)

B 2 9 K 67/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 55/12

B 3 2 B 27/36

C 0 8 J 5/18 C F D

G 1 1 B 5/64

G 1 1 B 5/73

B 2 9 K 67:00

C 0 8 L 67:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

かくして本発明の目的は、本発明によれば、一方の表面は中心面平均粗さ (W R a A) が 5 n m 未満で A F M による表面平均粗さ (A R a A) が 4 n m 未満であり、

他方の表面は中心面平均粗さ (W R a B) が W R a A よりも大きくかつ 4 ~ 1 5 n m で、A F M による表面平均粗さ (A R a B) が A R a A よりも大きくかつ

3 ~ 1 1 n m であり、そして

静電密着剥離強度が 5 . 0 g / c m 以下である二軸配向ポリエステルフィルムによって達成される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

このような静電密着剥離強度の小さいフィルムは、走行性や巻き取り性を高度に高める頻度の少ない大きな突起の間に、小さな突起を多数配置したりすることによって得られる。

さらに具体的に、本発明の二軸配向ポリエステルフィルムについて説明する。